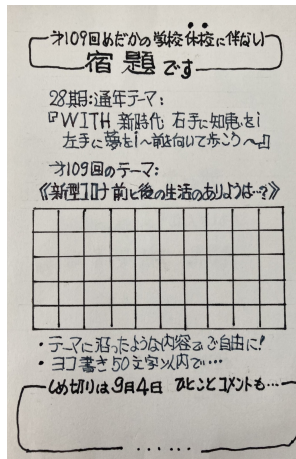


おもしろい・暮らし・人立 めだかの学校だより

令和2年11月1日
宿題特別特集号
学舎：周智郡森町一宮
「一宮総合センター」
事務局：静岡県磐田市
家田 529-20
TEL:0539-62-6691

《宿題特別特集号》



※名前・宿題・ひとこと（*）

●秋山勝則（磐田市）
トイレ前後の手洗いの確実性が格段にあがった。仲間を恋しく想いやさしくなれる気がする。
*ひとこと 早く密になりたい。

●芦川 和美（磐田市）
家族との時間が増えて幸せです♡コロナさんのおかげで、日々の生活がシンプルになりました。感謝♡感謝♡
*みな様に逢えるのたのしみになっています。

●天野智加志（森町）
コロナ対応で祭芸能など地域伝統行事が風前の灯となっている。時代に対応した

復興再生に全力を尽くしたい。
*めだかの学校も知恵を出して開校したい。みんなが顔を合わせて話すことに勝るものはない。

●石野 省三（引佐町）
いくつもの日々を越えて辿り着いた今がある。だからもう迷わずに進めばいい栄光の架橋へと…（栄光の架橋より）
*気を緩めず、足元を見つめる日々多し！バラさん前を向こう。

●伊藤 英雄（磐田市）
新型コロナウイルス、過去形になるのはいつになるのか？ 3密禁止の解除よ、早く来てくれ！
*人に会えないのは淋しすぎるよ。

●市原 実（習志野市）
梅雨あけ後の猛暑とコロナ感染おそれ、目下動けず。収束後はG.O.T.トラベルを実現を…夢見ています。
*もう3月から外出、もちろん他県への旅行もしていません。じっと自宅こもり中です。運動不足、体重増のさなかです。

●今村 純子（磐田市）
外出出来ない日々は終活整理のチャンス。そして今後永いかも？。楽しく豊かな生活設計を夢みる毎日は楽しい。
*みなさんの折角楽しみなメダカまで

足止めひどいネ。みんなはなれていても意気統合。

●植田美智子（掛川市）
集から個の時代となり物から心の時代がやってきました。正しい知識と人との絆を深める。
*長年勤めた会社を63才を機に退職し、介護の社会に足をふみ入れましたが、人間関係などで10月半ばで退職です。

●埋田 千聡（浜松市）
マスクを外し、風に吹かれて深呼吸でき、自然豊かな故郷の価値に気づき、守っていく生活、活動、発信。
*ライブ活動は休止中、10月頃から森林公園で再開予定。

●大久保 陽（磐田市）
外出は殆どしない。コロナ関係ナイヨ。毎日元気で体を動かしています。
*元気はわが家のタカラ。

●大島 たまよ（磐田市）
頼まれ仕事を断れず益々忙しい日々。外出時のマスク着用は横着に輪が掛かり化粧もしくなりました。
*2日前に家の前で車を追突され、通院の日々：2020年インフルエンザにはじまり、色々騒動の日々を送っています。

●大杉 昌弘（磐田市）
会えない時こそ、人との繋がりの大切さを感じます。人との距離をとったり、お互いの心は密にありたいです。
*コロナ禍が日常になりつつあります。また皆さんと元気に笑いあえることを楽しみにしております。

●太田 宜子（滋賀県栗東市）
ステイホームで家族全員で食事をする回数が増え、家事も家族を巻き込んでするように変わって喜んでいきます。
*新入生です。よろしくお願ひします。ドキドキ、ワクワクしています。

●太田 民次（岡崎市）
家から一歩出たらリスクを考えて行動する趣味の詩吟は海か山に向かつて声を出す審判は終息するまで出場しない。
*コロナに対応しながら、詩吟、スポーツジム、仕事（バイト）も年令を感じながら元気でやっています。

●太田 康雄（森町）
良好な関係は相手を知ることから始まります。コロナを正しく理解し、正しく恐れ、上手に付き合ひましょう。
*コロナは田舎にとつて吉か凶か？ 前向きにとらえたいですね。

●大場 敬子（袋井市）
コロナは、中国開発の生物兵器で、未収束です。日本人は危機感がなさすぎです。いづれつげが回ってきますよ。
*休まなくてもよかったのに、残念です。次回楽しみにしています。

●小野 泰弘（磐田市）
地域福祉はコロナの為、崩壊の危機を迎えています。しかし「離れていてもつながろう」との思いでいきます。
*内緒のコメントありました。だから内緒です。（笑）

●尾上 美智子（浜松市春野町）
不用な外出は、自粛、草を刈り、畑を耕し、自家用の野菜は、自分の手で、耕せ日

●尾上 美智子（浜松市春野町）
不用な外出は、自粛、草を刈り、畑を耕し、自家用の野菜は、自分の手で、耕せ日

本もう一度日本。

*暑いですが。コロナ、猛暑、大雨、地球はどうなってしまうのでしょうか。

●大野 環愛(みよし市)

コロナによって直接会えなくなった分りモートで人との距離が以前より近くなりました。学校リモートで！

*新しいシステムを取り入れると新しい仲間もふえるかも。

●大谷 洋介(浜松市)

いつも、新しい時代に立ち向かうのみ！年寄りも昔を思えばあきらめもつくよ。いいユメを見てくらしそう。

*あまりムズカシイ宿題をださないで！

●小野田 全宏(静岡市)

7月豪雨で被災された方々の苦悩は想像を絶する。Vもきてくれない被災地で奮闘している、被災地のVに支援を！

*自分が当事者になったら、どうするんだらう。もう73才です。

●かまちよろろ(東京都中野区)

まだ終息が見えないので先のことは分かりません。一日一日を大切に噛みしめて生きていかねば！と思っています。

*めだか生の皆様 御身大切に！このコロナ禍を生き延びましょう！

●川嶋 ひろ子(浜松市)

ゆったりとした自由な時間が出来、今までの生き方を見つめ直し、立ち止まって考える事が出来てよかったです。

*締め切り遅れて失礼しました。

●黄瀬川 はつ枝(島田市)

コロナよ！大切な絆やスキンシップまで奪おうというのか。でもきつと大丈夫。人間はきつと勝つ。愛があるから。

*バラさんの所だったら番地が違っても届くでしょうに、すみません、知名度低くて。(こちらこそごめん)

●木村 智子(埼玉県所沢市)

自然からの恵みで生きているヒトという存在。もう一度足元の小さな花や恵みとしての食物に目をむける生活に！

*×切すぎてすみません。(いや、1ヶ月過ぎてても間に合わせました！よかったですね！笑)

●草地 博昭(磐田市)

使ってなかったタブレットによるオンラインがフル回転。ですが対面(オフライン)の大切さが身にしみてます。

*気持ちもスッキリ、元氣いっぱいです。コロナとうまくつきあいながら、新たな磐田づくり！

●草笛 由美子(滋賀県守山市)

目の前に来ることを、やらなければならぬことを順番にやっていくだけ！考えないことが一番よさそうです！

*いろいろ変化の多い年！足元をかためるため、滋賀のアトリエにて発信することにしました。

●榊原 幸雄(磐田市)

旬を食して免疫力を高めてコロナと共生社会で過ごす日々まだ多し。手洗いと3密避けて残りの人生楽しむべきかと。

*めだかの学校 休校つらいね。12月の110回は何としても開校するね。

●榊原 淑友(森町)

日本のむかしは衣食足りて礼節をしる、でしたが、現在の日本は衣食足りて礼節を忘れようとしています。

*

●島田 尚子(磐田市)

人と逢え、語り合える大切さを守る為に、あらゆる環境破壊を続ける私達の生活の有りようを見直したい。

*

●清水 良文(新城市)

生物はお互い寄り添い生きる。コロナなんかで分断されてはいけない。ソーシャルディスタンスのない社会を。

*11月1日に計画していたカネト三ヶ日公演もコロナで中止。来年はぜひ実現させたい。

●白尾 恂(浜松市)

壮絶な恐ろしさを感じる新型コロナ、自身の免疫力を保ち「なるようになる」生活を考へて行きたいと思えます。

*皆さんとの触れ合いを楽しみに！

●菅原 欽一(東京都東久留米市)

コロナで何でも先延ばしになり、自粛が急げ癖をつけるようで恐いです。

*願わくば20代30代の若い新入生を増やしていただきたいです。(どなたか紹介して)

●鈴木 厚生(千葉市緑区)

自粛もG.O.T.O.も関係なく、残りわずかな人生を遊び尽くすつもりでいます。

*

●鈴木 緯代(浜松市)

人との出会いが少なくなりそうです。今ある人とのつながりを大切に。家での自分時間を有効に活用したいです。

*7月17日我が家に女の子が1人増えました。

●鈴木 祐之(磐田市)

まだ今の段階ではウィルスと共存はとも無理ですが時が経てばペストに勝った様に今までの生活にもどっていく。

*12月は是非とも開校したいなあ。

●鈴木 正士(磐田市)

新型コロナを常に意識して3密を避け、うがい、手洗いを励行する必要があります。

*残暑お見舞い申し上げます。毎日暑い日が続きます。お体をこ慈愛下さい。

●鈴木 真弓(浜松市)

前も後もこのままでしょうか。でも自然に何かはうつつて行く。私的には30年以上過ぎた身、糸結ぶ毎日の生活。

*遅れて申し訳ないです。が、哲学課題です。考えるほど大変でした。

●竹野 昇(袋井市)

好きな旅ができない。東京・孫達に会えない、息子夫婦も子供を連れて帰省できない。今後も続きそうで辛い！

*コロナのせいで読書量が増えました！

●田村 進治(磐田市)

地球平和が願望ですが、まずは家庭隣人知人の幸せと健康を祈ります。どんなに世の進歩が早くAIが進んだとしても。

*7月は雨ばかり、8月は暑さばかり。今年にはコロナの話題ばかりですね。

●徳増 兼弘(浜松市)

人生は天命を待つのみコロナコロナでさわいでみてのちはひとつウィルスに負けるなさんみつをさけ毎日を。

*グループで(30〜50名で)午前中です。楽しんでおります。時には大会も。

●鳥山 剛(掛川市)

残り少ない人生物事に夢中になり楽しく過ごす事を心がける様にしました。

*第1回生がだんだん少なくなり、篠原準八先生から時々連絡が来ます。

●中村 明男(浜松市)

”生きる” 大切な事に家族とは、より密に思いやり、仲間とはつながり大事に声掛けUP。

*ジム筋トレ欠かさず、テニス暑さで時折休み、2坪農園も暑さでダウン、版画陶芸ぼちぼち、イベント自粛で余った時間家の整頓進まず…

●中村 やす代(浜松市)

私的には特に変わりなし。全てが共存している事を忘れずに、これからも前を向いて歩くのみ。

*第109回、校長訓話の答え。娘に聞いたところ「数えきれないほど残っている」とのこと、ですわね?。また、皆さんに会えますように。

●奈良 努(秋田県鹿角市)

コロナは読書する暇をくれた。人間には生きるか死ぬかの選択肢はない、あるのはいつ死ぬかだけだと人は言う。

*いつも感謝です。コロナで全てを先伸ばしても、明日生きている保証などないのだから、できることは今しようと思うのです。

●長谷川 智(浜松市)

静かに自然とともに生きる。大切なこと、幸せは何かを決めるのは自分。ゆっくりやりたいことをやろう!

*遠州考をたくさん紹介して頂き、ありがとうございます。ありがとうございました。

●長谷部 三弘(飯田市)

鄙の地ではコロナ禍の前後なし、筆持つ右は痺れ盃持つ左は震える日々。余白はまだある?唯我論で行く。

*10月5日で米寿を迎える。Drと薬と仲良くしている。

●服部 守孝(森町)

コロナの時代に入り、私は3密を避けるようにしております。コロナ明けに、皆様と御会いできることを楽しみに。

*また、合う日まで!

●花井 孝(静岡市清水区)

「コロナより先に、我が家では、ソーシャルディスタンスは、当たりまえ」おかげで陰性ありがたや

*9月4日まで元気だったら是非と考えています。先のこととはお天道さま次第で…。宿題には自信が「天才」!

●原 邦司(浜松市水窪町)

尊徳翁の教に「分度」と「推譲」があり

ます。「分度」を越えて地球に負荷を与えています。争うのではなく「推譲」が大切

*子供3人、孫7人います。次世代の為に、少しでも住い社会になるよう取り組んでいきたいですネ。「明日死ぬかのように生き、永遠に生きるかのように学びなさい」(ガンジー)

●早川 裕康(中津川市)

めだかの学校のオンライン開催やSNSを利用して知恵のストックをしていく。

●藤田 久枝(埼玉県草加市)

変化は年間50カ所施設訪問が無くなりました。でも練習は週1で3時間は続けて9月は1件ある為張り切っています。

*夢はいっぱい!知恵は足りなくなってきたけど、年を忘れて頑張ってます。See you!

●古橋 利雄(浜松市)

浜松田町でクラスター隣の鍛冶町で熱暑新記録。コロナが熱で収まればこれは神意。炎天下で太陽熱消毒しよう。

*9月休校はよく決断されました。私の周りは容疑者だらけ、移されてしまったから移したでは言い訳にもなりません。

●別所 慶則(浜松市)

TVのドキュメンタリー番組「ロックダウン:プロバガンダ」と。慣れぬ横文字、日々の酒・珈琲の味微妙。

*「コロナ禍」によって何を逃し、何を掴むことになるのかと…社会は、自分は今只瞑想、迷走中です。

●牧野 久子(浜松市引佐町)

週に2回買い物と自分の用事に運転のできない主人の為週2〜3回外に出ています。コロナとは関係ない生活です。

*老人ホームに入っている母に会いたいのですが面接が出来ません…さみしいですね。

●松本 芳廣(袋井市)

過疎、過疎の私達のふるさととは、コロナにも強い。もらわれない、あげないに注意しながら、人とモノの交流を!

*先日はお疲れ様でした。コロナ下のメダカ、武ちゃんなきメダカ、いろいろ変わりますね。(いつも頼りにもしていたので残念です)

●間瀬 亮太(浜松市)

コロナ(前)は家を留守にする時間が多く、(後)は出張やバスケットも制限されて自宅で家族とBBQ。それはそれで良し!

*こんな時代ですので、何事も前向きに!!

●水島 加寿代(浜松市)

テレビを見なくなりしました。煩雑な情報を遮断すると真実が観えてきますね。そんな気が感謝しています。

*いつもありがとうございます。早く皆さんと大声で笑い合いたいですね。

●水野 忠義(静岡市葵区)

のん気元気のシルバーめだか!大きくなってメダカはめだかだナ!。200回目指してそれいけ、ファイト!

*100才を目指して!。杖つき老人になったが、まだ傘寿(30才)?、第二の成人式過ぎたところだからネ。

●水村 春江（浜松市）

YouTubeに嵌る未知の世界を知る。名著の解説。人生論。健康。コロナ対処法。面白い。お籠り勉強法。

*コードレステレビを買いました。いつでもどこでもスイッチON、宿題は体力維持、あとは実践あるのみ。

●溝口 久（神奈川県南足柄市）

生活環境を変えることは実に大変です。小山町の友人達の助けがなくてはできませんでした。改めて人のご縁に感謝した次第です。

●宮澤 博行（磐田市）

酒を呑まないためコロナ瘦せに！家族と過ごす時間も多く、貴重です。やはり人に会う喜びを取り戻したいです。
*早く皆さんに会いたいです。

●村木 謙弔（浜松市）

今までは暗黙の了解で生活が日常でした。これからは疑心暗鬼のマスク生活が続く…か。
*いつもありがとうございます。やっとお手紙を書いています。これからも元気でマスク！

●村田 徳治（磐田市）

ちょうどコロナ禍の中で、巣こもりして読書三昧の日々です。戦後私たちが歩んできた時代を省み、展望を模索。
*毎朝散歩、週2度のスポーツジム、月2のヨガで健康第一の生活です。

●村松 達雄（森町）

マスク着用は面倒だけど、風邪を移さない、移させないための必須条件。小さな配慮が当たり前の時代にしたい。

*・・・

●村松 康博（磐田市）

会う人会う人顔見合わせて楽し会話！マスクして誰だか分からず擦れ違う人との会話も距離も神経質になった。
*暑さとコロナでうつ病寸前。思いやりと感謝を持ち続けられる人間に！

●村松 幸範（森町）

計画していた街道巡りは全て中止に。ジパングの手帖も机の中でひっそり。終息後を考える胸わくわくと。
*高齢者なので罹患しない様にほとんど外出せず、柿の木の下に。

●山下 智之（浜松市）

前・夏のマスクは不自然。後・夏のマスクは自然。前・休まないが当たり前。後・休むのが当たり前。
*コロナ感染者数の発表より回復者の発表を増やした方が良いのでは？

●山下 安範（磐田市）

昨年のラグビーWカップではエコパが大変盛り上がりました。コロナ収束後の東京オリンピックは…
*昨年のラグビーWカップではボランティアとして中日新聞に記事として掲載していたきました。「中日新聞社 ラグビーWカップ山下安範」で検索してみてください。

●山根 圭二（横浜市緑区）

コロナ前…心配するナナンジャ・ソレコロナ後…オットネエケイジもいるよ。ボク・タカカウ・ハイ
*女房サマー。ハイ・ハイ・ハイ。

●山田 修平（浜松市佐久間町）

我が家は山の中で人通りもなく普段通りの。風の通りも良く土日のお店での消毒等に気を使うがストレスも無し。
*ひろ子は前日仕込みが有る為とありえず休学（退学）とさせてもらいます。

●山中 幸子（袋井市）

制約された社会の生き方ではなく自分と向き合い、思いやり！感謝！余禄の人生は楽しく…。
*メダカの入会の2人（藤田さん、飯田さん）登校できず。コロナ終息願うのみ。（残念ですが28期は退学させていただきますと連絡ありました）

●横山 忠志（掛川市）

コロナを指定感染症から解除し、通常の日暮らしを取り戻す。対策は知見に基づき一点集中。当たり前を大切に生活。
*用務員暮らしは気楽に勤められる環境です。感謝して過ごしています。

●若尾 和孝（磐田市）

バンド休止、旅行中止、送別会中止、毎週仲間弾き語り音源を送っています。大切な人と語り会いたいです。本当に。
*いろいろな意味で10年遅れの厄年か？人生100年時代、残りの半分なりにしようかと。

【あとがき】いや〜やりきりました。宿題のハガキ、一枚一枚 名前と50文字の内容とひとこと。それぞれの生徒の皆さんの思いや考え方が伝わってきます。パソコンを何日かけてポチポチ打ちながら、新型コロナウイルスが、いま私たちに語りかけているのはなんだろうと思わずにはいられません。それにしても多くのめだ

か生が真面目に書いて提出してくれたことに感謝感謝です。

因みに119枚発送しました。その結果です。また発送時期の関係で内容に季節のずれがあるのはご了承ください。ありがとうございます。あと体裁やまとめについては間瀬亮太メダカにお任せしました。

■人生の折り返し

50を過ぎてもまだまだやりたいことだらけ2018〜2019年外務省国際交流基金からタイへ約1年日本語パートナーズとして派遣され、帰国してから猛スピードで己書を習い始め、師範を取得。コロナ禍などから思うように活動できていないもの、それもまた、チャンスと思いい、様々なことに挑戦中。好奇心と体験心からまずは直感を信じ、やってみる。今年には地歌舞伎（セリフ有、や次男の勧めで、SUP（スタンド・アップ・パドル）にも挑戦。SUPヨガができるほどになった。

〇〇だから、もう〇〇だし、など後ろ向き発言や愚痴を言わず、前を向いて、自分のやれること、やりたいことをやる続けること。素直に受け入れる心をもち、『すべては うまくいっている』と言い続ける。新しいことに挑戦する気持ちを持ち続ける。どんなことも初めの1歩を踏み出せば、あとは歩き続けられる。おばさんだっていつまでも、希望と体力を維持していれば何だってできるんだという見本になりたいと日々まめに動きまわっている。自然の中で過ごす時間があると気持ちがいりセットされ、本当にやりたいことがこみあげてくる。そして、誰かのおかげ様と感謝をして暮らす。それが1番大事。

（小林佳代メダカ）

